

3月9日(月)

冠を脱ぎ捨てる

聖書朗読 ヨハネの黙示録 4章

あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからです。

ルカ 12:34

私たちは本当に多くの「帽子」をかぶっています。私たちは母であり、夫であり、先生であり、友達であり、従業員です。私たちはこの地上ではこの帽子、つまり役割によって判断されます。王は、自分がかぶっている冠のために重んじられます。ヨハネの黙示録では、王たちが自分の冠をかぶってそこに座っていることが述べられています。天国では、王たちは自分の冠をいと高い神の前に投げ出して、言いました。「主よ。我らの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。」神の栄光を表すため、王たちは彼らとならしめたる王冠さえも捨てます。

もし私たちが主の前に自分の冠を投げ出したら、私たちの生活はどのような感じになるでしょう？神と私たちの間には何もなく、聖なる神のみまえ頭をたれて、ただ神の前にいる、これでもたらされる平安とはどのようなもののでしょうか。私たちは主のために自分を捨てなければならないと、イエス様はおっしゃられています（マルコの福音書8:35）。つまり、自身の冠を脱ぎ捨て、私たちの全てを主に捧げましょう。

自身の象徴である冠（帽子）を手放すのは容易ではありません。しかし、私たちがかぶるべきたった一つの冠は、十字架につけられたキリストの冠です。今かぶっている冠を脱ぎ、生ける神の子の象徴、キラキラと輝く冠を手にとったとき、あなたの心を満たす平安はすばらしいものとなるでしょう。

讃美歌 361

祈り ああ、主よ。あなた様は私が心から願う冠です。私は自分の冠は投げ捨てます。どうか私をあなた様が望まれるしもべとなれるようお導きください。イエス様のお名前によって。アーメン。

リーン リチャード
アラバマ州 ハンツビル

今日のカ

2020年3月9日～3月15日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月10日(火)

まさか、それ着ていくの？

聖書朗読 ヨハネの黙示録 7：9～17

彼らは、大きな患難から抜け出て来た者たちで、その衣を子羊の血で洗って、白くしたのです。
ヨハネの黙示録 7：14

今日のタイトルのようなことを誰かに言われたら、私たちはきつこう答えるでしょう。「まさか！」TPOを間違えた洋服を選んでしまったとき、こんな感じで厭味ったらしく言われてしまいますよね。

人は公の場に出るときはそれなりに洋服に気を使います。マタイの福音書22章で、多くの人が礼服を来てくる子羊の婚宴のときに、礼服を来ていない者に対して、王は尋ねます。「どうして礼服を着ないで、ここに入ってきたのですか？」私たちは、来た日の神の裁きの座に我が主イエスの義に着て立ちたいですよね！幸いにも神は全ての人が着ることができるよう用意してくださっておられます。

自慢したい気持ちは捨てましょう！汚れた洋服は捨てて、イエス様の完全なる義を身にまといましょう！そして「まさか、それ着ていくの？」と聞かれたら、「もちろん！」と答えるのです。

讚美歌 280

祈り ああ主、我が神よ、私は自分の行いに一切の自信がありません。それは私の行いは不十分で、自分を捨てきれないからです。我が主イエス様の義を私にまかせてください。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

レニ・ロピケスト
テキサス州 サイプレス

3月11日(水)

お祝いです！

聖書朗読 出エジプト 12：1～20

これをあなたの手の上のしるしとし、
出エジプト 13：9

家族揃って新年を祝う席での一コマ：

「はい、みんな、新年の願いを言っていこう」

(そう言っている間にも、オーブンの中のパイが潰れていませんように思ったり)

「ではジョーから」

(気の毒に、ジョーはこの後すぐ仕事に戻らなきゃ行けないのよね)

「ここに皆が集まれて嬉しいです」

(このサラダにちゃんとピーナッツ入れたかしらと心配したり)

「オリビア、ケーキを作ってくれてありがとう！」

(まさか、ケイトは肉を食べられないから彼女の分、違う物ちゃんと準備してたっけ?)

お祝いは、本当に多くの準備—料理、掃除、招待、予定の調整、移動など—が必要となります。またお祝いにはお祝いのことばで溢れます。

一生懸命用意したのに、誰も何も言ってくれなかったらがっかりします。お祝いをするときは、もう一度何のためにお祝いをするのかをしっかりと再確認してください。

神は、過ぎ越しの祭りのお祝いをするのかを皆がしっかりと分かっていることを望まれました。神は、彼らが神の強い手で奴隷の家から連れ出されたことを忘れないことを望まれました。私たちが毎週キリストの復活を祝う時、私たちへの豊かな恵みに感謝する時、それがどういうことなのか見過ごすことがないようにしましょう！

讚美歌 356

祈り お父様、私たちが祝う意味に感謝いたします。大きな声で言います。
あなた様は私たちの救世主です。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョー・バーネット
テキサス州 ヒューストン

3月12日(木)

疑ってる？とにかく行ってみよう！

聖書朗読 ヨシュア 1:1~9

トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をその脇に差し入れてみなければ、決して信じません。」

ヨハネ20:25

トマスは、仲間の弟子たちから復活されたイエスさまに会ったことを聞かされても信じませんでした。これがトマスのあだなが「疑い深いトマス」になった所以です。弟子たちは、「トマス、来週行ってみてください。その時あなたはイエス様に会えますよ」とトマスに言ったのではないのでしょうか。仲間の弟子たちがイエス様に会った時、トマスはそこにいなかったため疑うのはしかたありませんでした。しかし、それでも八日後トマスは仲間たちと共にそこに行きました。トマスはイエス様が死に、孤独や悲しみでどうしようもないと落ち込んでいるのではなく、集まりに行きました。何かトマスの心を動かしたのでしょうか。つまり蘇られたイエス様に会って、平安と勇気を与えられ、聖霊を吹き掛けられた弟子たちに会い、動かされ、イエス様に会うために向かいました。

その時はまだ、トマスはかなり疑ってはいたのだと思いますが、とにかくその場に行きました。そしてイエス様を見たのです！仲間を疑っている時、どうせ何も起きないと思っている時でも、集まることをやめないで(ヘブル人への手紙10:25)とにかくそこに行ってみましょう。疑い深いトマスはそうしました。たとえ彼の信仰が弱かったにも関わらずです。そして、トマスはイエス様に会えたのです！

讃美歌 352

祈り お父様、私たちは信じています。不信仰な私をお助けください。我がイエスを遮ってしまうこのプライドをお許しください。仲間を信じ、心からイエス様、我が主の再来を待ち望むようお助けください。

イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

スティーブン レミリー
編集者

3月13日(金)

困惑するアブラハム

聖書朗読 創世記 15:1~21

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。

ピリピ 1:6

神は約束を守られます。この真実は創世記からヨハネの黙示録までに繰り返し見られるテーマです。神に大いなる国民とすると言われたアブラハムの困惑と、彼自身が思い至った神の解決方法に、その後を知っている私たちは、「心配しなくていいのに」に思ってしまう。しかしアブラハムは必死でした。

大いなる国民は少なくともひとり子供を持たなければならず、アブラハムにはひとり子供がいまませんでした。神はアブラハムに星を数えるように言い、そして言いました。「あなたの子孫はこのようになる。」しかしどのようにでしょう？その答えはアブラハムにはすぐには現れませんでした。約束の子供、イサクが生まれるのはそこから24年後でした。

アブラハムは困惑しましたが、だからといってアブラハムの信仰が欠けていたというわけではありません。ピリピ人への手紙の中で、パウロは、良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると言っています。これは神がピリピ人たちに与えた約束について言っています。

私たちがまた、「主よ、あなた様の約束を信じていますが、本当にこれで良いのでしょうか？」言ってしまうときがあります。今度はアブラハムが「心配しなくていいのに」と思う番かもしれませんね。アブラハムが彼の信仰を私たちに見せたように、私たちが私たちの信仰をアブラハムに見せましょう。

讃美歌 270

祈り 親愛なる主、あなた様を賛美し、私たちにくださっている約束に感謝いたします。あなた様が私たちとともにいて、全ての良きことを完成させてくださることを心から信じる信仰が持てるようお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

メアリー・エステス
カリフォルニア州 サウザンドオークス

3月14日(土)

神に代わる

聖書朗読 創世記 50:15~21

恐れることはありません。どうして、私が神の代わりでしょうか。

創世記 50:19

数年後も、ヨセフの兄弟たちの心の中には罪の意識は残っていました。彼らの父親が死ぬと、ヨセフは彼らを恨んでいて、ヨセフを奴隷として売ったことに対して仕返しをするのではないかと兄弟たちは怯えました。ヨセフは彼らに言いました。「恐れることはありません。どうして、私が神の代わりでしょうか？」

この言葉について考えてみましょう。もしヨセフが恨みを持ち続けていたとしたら、ヨセフは神に代わって兄弟たちに仕返しをしたことでしょうか。パウロがローマ人たちに言いました、「自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい」(ローマ人への手紙12:19)。

あなたは恨みをいだき続けていますか？その恨みを唯一で完璧な裁きの御方である神に委ねた時、あなたには平安が訪れ、恵みで満たされることでしょうか。

怒りと苦しみは、あなたが神から離れ、あなたの人生において神が統治者であることを信じていないときに現れるサインです。神は神を愛するものとともに働いて、万事を益となるようにしてくださると信じることができれば、怒りや苦しみとではなく、喜びを持って試練に立ち向かうことができます。

ージョン C. ブロガー

讚美歌 316

祈り 親愛なる主よ。今私が抱いている恨み全てを手放すことができるよう、どうかお助けください。裁くのはあなた様であり、私はそれに従うものであることを忘れませんようお助けください。あなた様が示してくださる恵みとあわれみに心より感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア

3月15日(日)

信仰を養う

聖書朗読 出エジプト 14:5~14、29~31

見ずに信じる者は幸いです。

ヨハネ20:29

ケネディー宇宙センターでスペースシャトルの打ち上げを見ているNASAのエンジニアたちの目に涙が浮かんでいました。6.6秒前に3機のメインエンジンが点火され、そして0になると固形ロケットブースターに点火され、スペースシャトルはゆっくりと上昇を始めます。発射台から離れ、シャトルは天空に向かって進みながらゆっくりと回転を始めます。素晴らしい光景です！

2つに割れた海の中を歩くことを想像できますか？水の壁があなたの左右に続いているのです。驚きです。あなたは乾いた土の上を歩いていることにふっと気がつくのです。おそらく魚でさえ、この奇妙な光景を見ているでしょう。海を渡りきった時、水の壁は閉じあなたの追っ手を叩きつけます。ウォ！このような強烈な経験はイスラエル人たちの心に信仰を生み出しました。

信仰の弱さゆえ、ほんの僅かなイスラエル人たちはカナンに向かいました。何が起きましたか？ヨハネの福音書では、見ないと信じるできない信仰は浅いものになってしまうと暗に伝えています。イスラエル人の信仰は神の力に対してのものであり、神そのものを信じるまでには至りませんでした。目に見えるに恩恵により信じるのではなく、見えないものを信じられるようにあなたの信仰を育てましょう。神のみことば、約束を信じましょう。神が私たちを愛してくださり、喜んで私たちのために戦って下さる御方であることを忘れないでいましょう。

聖歌 272

祈り 聖なる神様、心からあなた様を信じることができますようお助けください。私たちの信仰がより深まりますように。私たちを支えてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マーク・ゴメス
テキサス州 ベッドフォード